

自殺対策基本法20周年に向けて： 学際的検討と 現場の経験を踏まえての政策提言

趣旨

日本の自殺死亡率は1998年に急増し、2006年の自殺対策基本法による施策の効果もあって2009年から減少に転じたが、2016年以降は減少が鈍化している。また、近年の小中高生の自殺の増加は大きな社会問題である。

自殺関連行動は、個人的、社会的、心理的、文化的、生物学的そして環境的因子が互いに絡み合う複雑な現象である（WHO、2014）。自殺死亡の更なる減少には、学際的研究と地域、現場の経験の積極的対話が必要である。共同研究集会のプログラムを、(1) 自殺対策とは何か、(2) 自治体の主体性・独創性を活かした自殺対策の推進、(3) こどもの自殺予防、(4) 政策提言のための円卓対話とし、その成果を政策提言にまとめる。

2026年

1月30日(金) 10:00-17:00

1月31日(土) 9:00-16:00

統計数理研究所 (東京都立川市緑町10-3)

開催方法：現地及びZoomミーティングのハイブリッド開催

定員：現地50人／Zoomミーティング200人

2025年度 共同研究集会「自殺対策基本法20周年に向けて：
学際的検討と現場の経験を踏まえての政策提言」企画委員会

委員長：竹島 正（研究代表者／大正大学）

委員：大塚 尚（東京大学）、岡 檀（統計数理研究所）、小川有閑（大正大学）、
勝又陽太郎（東京都立大学）、小出直史（大阪大学）、小高真美（武蔵野大学）、
高井美智子（埼玉医科大学）、高橋邦彦（東京科学大学）、椿 広計（情報・システム研究機構）

協力：一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター（CSPSS）／一般社団法人全国自死遺族連絡会
一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会

令和7年度科学研究費助成事業基盤研究（B）「自殺対策における共創的（Co-creative）
ネットワークの構築を目指した実践研究（研究代表者：小高真美）

後援：一般社団法人日本公衆衛生学会／一般社団法人日本自殺予防学会／一般財団法人日本公衆衛生協会
一般社団法人エッグツリーハウス／全国精神保健福祉センター長会
全国保健所長会／全国精神保健福祉相談員会

お問い合わせ：共同研究集会事務局
cspss.kenshu@gmail.com

参加申込は
こちらから



<https://forms.gle/NQ5J2UvrMZUr5EwU6>

1 日 目 (1月30日)	10:00-10:10	開会の挨拶 竹島 正 (研究代表者／大正大学 地域構想研究所 客員教授)
	10:10-12:10 10:10-10:30 10:30-11:00 11:00-11:30 11:30-12:00	(1) 自殺対策とは何か 講演①「自殺対策の20年ー私たちはどこに向かうか」 竹島 正 講演②「わが国における自殺の現状と自殺対策」 富原 博 (厚生労働省社会・援護局 総務課 自殺対策推進室 室長補佐) 講演③「自死遺族当事者から見た自殺対策の20年」 田中幸子 (一般社団法人全国自死遺族連絡会 代表理事) 講演④「自殺予防に資するデータの利活用」 岡 檀 (情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任教授) 座 長：椿 広計 (情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長) 勝又陽太郎 (東京都立大学人文社会学部 准教授)
2 日 目 (1月31日)	13:00-17:00 13:10-13:30 13:30-13:50 13:50-14:00 14:00-15:00 15:00-15:40 15:40-17:00	(2) 自治体の主体性・独創性を活かした自殺対策の推進 自治体の実践報告①「自殺総合対策の地域展開における留意点ー長崎県での実践を中心にー」 大塚俊弘 (長崎県病院企業団 長崎県精神医療センター 院長) 自治体の実践報告②「八尾市における自殺対策ー“ほっとかれへん”を合言葉にー」 友田寿幸 (八尾市保健所 保健予防課長) 休憩 特別講演「包摂社会の実現と地方自治」 片山善博 (大正大学地域構想研究所 所長) 対談「地方自治と自殺対策」 片山善博×南島 和久 (龍谷大学政策学部 教授) 全体討論 指定発言：長坂匡哲 (春日井市地域共生推進課 課長) ほか 座 長：齋藤真哉 (埼玉県立精神保健福祉センター主任) 中村征人 (愛知県春日井保健所課長補佐)
	9:00-12:30 9:10- 9:40 9:40-10:10 10:40-11:10 11:10-11:40 11:40-11:55 11:55-12:10 12:10-13:00	(3) こどもの自殺予防 講演①「こどもの自殺対策ーこども家庭庁の取組を中心にー」 星 匡哉 (こども家庭庁支援局総務課自殺対策室企画官) 講演②「公衆衛生の立場から」 野村恭子 (秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授／ 日本公衆衛生学会メンタルヘルス・自殺対策委員会 委員長) 講演③「精神医学の立場から」 太刀川弘和 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 教授) 講演④「子どもの自殺の増加傾向と要因分析」 渋谷哲也 (フリージャーナリスト) 研究報告・活動報告①「若年層の自殺リスクはなぜ高いのかー自殺意識調査による検討ー」 高橋義明 (明海大学経済学部 教授) 研究報告・活動報告②「児童福祉の現場から」 田邊総男 (相模原市こども・若者未来局 こども家庭支援部児童相談所 南相談支援課 課長) 全体討論 指定発言：村上 龍 (千葉科学大学危機管理学部 保健医療学科 助教) ほか 座 長：小高真美 (武蔵野大学人間科学部 教授) 高井美智子 (埼玉医科大学医学部 客員講師)
	13:50-15:30 14:00-14:30 14:30-15:30	(4) 政策提言のための円卓対話 「2日間の振り返り」 小出直史 (大阪大学感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 特任准教授／ 大阪大学社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 兼任教員) 「円卓対話」 座 長：大塚 尚 (東京大学相談支援研究開発センター 准教授) ほか
	15:30-16:00	(5) 追悼と感謝 田中幸子 小川有閑 (蓮宝寺住職／大正大学地域構想研究所 客員講師) 山口春奈 (一般社団法人エッグツリーハウス)
	16:00-16:10	閉会の挨拶 竹島 正

(2) (3) (4)の冒頭に座長による10分間の進行説明があります